

報道各位

2008年2月6日
株式会社日立アドバンスデジタル

電子看板システム用ソフトウェア「VividSignage(ビビットサイネージ)」を新発売

株式会社日立アドバンスデジタル(代表取締役社長:船津 道郎、本社:横浜市)は、施設ロビーや店舗内に設置したディスプレイ装置に動画や静止画の複数の映像コンテンツを配信し、表示させる電子看板システム用ソフトウェア「VividSignage(ビビットサイネージ)」を2008年2月6日から発売いたします。

近年、病院、金融機関、ホテルなどのロビーや大型商業施設、駅・空港施設などで来訪者に向けて映像を用いた情報を、大型ディスプレイに表示して確実に情報伝達を行いたいというニーズが増加しています。当社では、こうしたニーズに対応するため、コンテンツ作成が容易で静止画専用タイプ製品とプロモーション映像などの動画コンテンツも表示できる動画対応タイプ製品の2種類の製品を提供しておりました。

今回開発しました「VividSignage」は動画対応タイプ製品の最新版ソフトウェアです。管理用パソコンで「表示画面レイアウト」、「表示スケジュール」などを設定し、ネットワークを通じて各表示用端末へデータを配信します。配信されたデータは表示用端末に蓄積されディスプレイ装置に表示するので、ネットワーク障害による表示速度の低下や非表示状態などのトラブルが発生しません。

従来製品に比べて、表示端末台数の多い大規模な構成にも対応できるようになっております。これにより、チェーン店舗や全国支店などに数百台規模で表示端末装置を設置して利用する場合でも、一括して管理を行うことが可能です。

【VividSignage の主な特長】

詳細につきましては製品ホームページ(<http://www.hitachi-ad.co.jp/vivid/index.html>)をご覧ください。

1. 1台から1000台までの表示端末に対応

VividSignage で利用できる表示端末は1台から1000台まで対応可能です。表示端末の管理は、管理パソコンで一括管理することができます。

2. 動画と静止画を最大6画面に分割表示

表示用のディスプレイ画面を最大6画面に分割して、それぞれの分割画面に異なるコンテンツを表示できます。分割する画面サイズと配置は任意に指定ができます。

3. 様々な配信方式に対応

LANでの配信だけでなく、USBメモリによる配信やインターネット経由での配信にも対応可能です。ネットワークケーブルが敷設できないような環境では、USBメモリに配信データを出力し、表示端末に挿入することで配信を行うことができます。表示端末からの定期取得機能を使用すれば、インターネット経由での配信にも対応できます。

4. 印刷で静止画コンテンツを作成

VividSignage の「仮想プリンタドライバ」を使い、普段ご使用のアプリケーションから「印刷」コマンドを実行することで簡単に静止画コンテンツを作成できます。

今回発売する製品の価格、提供開始時期

【価格】サーバ(データ配信)用ソフトウェア: オープン価格(サーバ1台に1本必要です)

クライアント(表示用端末装置)用ソフトウェア: オープン価格(表示するクライアントごとに必要です)

上記製品にはサーバ、PC、表示装置(モニタ)などの機器は含まれておりません。

【販売および出荷開始日】 2008年2月6日

動作環境、接続機器については製品ホームページをご覧ください。
電子看板シリーズホームページ <http://www.hitachi-ad.co.jp/vivid/index.html>

本書記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。

お客さまからのお問い合わせ窓口

(株)日立アドバンスデジタル メディアソリューション本部

映像プラットフォーム部 営業グループ 担当:萩原、岩井

〒244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町 292 番地

TEL:045-865-8155、FAX:045-866-3961

製品紹介ホームページ URL : <http://www.hitachi-ad.co.jp/vivid/index.html>

報道機関からのお問い合わせ窓口

(株)日立アドバンスデジタル 事業企画部 担当:土谷、丸山

〒244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町 292 番地

TEL:045-865-8172、FAX:045-865-9736

e-mail: kouhou@info.hitachi-ad.co.jp

以上

このニュースリリースに記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問合せ先、URL 等)は発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
